

令和6年度 基幹相談支援センター相談件数

障がい種別

身体	知的	精神	児童	難病	その他	合計
23	182	847	65	0	55	1172

支援方法

訪問	来所	同行	電話	会議	関係機関	その他	合計
98	334	70	580	51	2	37	1172

相談内容

①福祉サービスの利用等	②障がいや病状の理解	③健康・医療	④不安解消・情緒安定	⑤保育・教育	⑥家族関係・人間関係	
298	96	419	293	26	320	
⑦家計・経済	⑧生活技術	⑨就労	⑩社会参加・余暇活動	⑪権利擁護	⑫その他	合計
66	73	87	25	3	88	1794

- ・相談件数は前年度から200件増。
- ・障がい種別では精神・発達が多く、前年度より315件増加。児童は50件減。
- ・関与した障がい児者は137人（新規62人、継続75人）、精神・発達は75人。
- ・電話による相談受付が最も多い。来所相談、訪問、同行については微増。会議については51回で、うち基幹相談支援センターが開催した会議は7回。
- ・相談内容については健康・医療に関する相談が最も多い。
就労、生活技術、障がいや病状の理解、家族・人間関係に関する相談については、前年度と比べると2～3倍増。
- ・年々複合的な相談が増加。基幹相談支援センターだけで対応できる相談はほぼなく、分野を超えた連携が必要。